

10月27日(土)、平成29年度の新潟精神医学会（場所：月岡温泉 ホテル泉慶、会長：医療法人有心会有田病院 有田要先生）に参加しました。当院の北村医師が、一般演題として、『精神科外来を受診した周期性四肢運動障害、再び』を発表しました。この周期性四肢運動障害（PLMD）は、DSM-5においてはナルコレプシー、悪夢障害、そしてしばしば周期性四肢運動（PLM）を併発するレストレスレッグス症候群のテキスト中に記載があるものの、DSM-5の臨床症候群には含まれていません。しかしPLMが不眠を引き起こし、睡眠障害を広く扱う精神科医療機関を受診することがあります。

特別公演は、大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室の池田学教授による『認知症と自動車運転』でした。今年はこのテーマの講演が非常に多い印象ですが、池田教授は認知症を含む他の精神神経疾患の罹患と道路交通法による規制の歴史から振り返り、最重要点を臨床家にも分かりやすく解説していただきました。当院に対しては、新潟県公安委員会から運転免許の拒否・取消し等の疑いのある者に対して診断を行うよう依頼される可能性があるのですが、池田教授の講演を参考に任務を適切に果たしたいと思います。